

書く・作る「秋深し」

アプリ

オクリンク

ムーブノート

ねらい

秋の言葉を使って俳句を作り、秋の言葉を身近なものとして味わう。

STEP 1

前回学習した秋の言葉(季語)にはどのようなものがあるかを簡単に復習。今日の授業内容とめあてを板書き説明。

STEP 2

◆めあて：秋を味わう俳句を作ろう。

先生から送られたカードに俳句を入力。俳句に合うようにカードの背景の色、イラストや画像を挿入、最後に俳号(ペンネーム)を入れて、提出BOXに提出する。

先生は提出BOXの設定を「氏名非公開」「すべての提出物を子どもに公開」提出順を「出席番号順」から「提出順」に変更し、提出者がわからないようにして内容を公開する。

★友達の俳句と自分の作品を比較し、良かった、参考にしたいと思った俳句はどれか、どんなところが良いと思ったかを確認し、自分の句を推敲する。

残りの時間を使い、改善することがあればないしを行い、提出BOXに再提出する。提出し終わった人は、提出された俳句の中で一番良い句だと思ったものを、先生が用意した別の提出BOX(2個目)に提出する。

先生が送ったカード
(1枚目:先生の作成した俳句、
2枚目:ひな形)
画像はいらすとやより
[https://www.irasutoya.com/
2018/11/blog-post_815.html](https://www.irasutoya.com/2018/11/blog-post_815.html)



子どもたちの作品

▶ 使い方動画 [画像やパワーポイントのファイル等をカードにつける方法](#)

▶ 使い方動画 [提出BOXの設定方法](#)

STEP 3

次時で、2個目の提出BOXに提出された俳句の中から、数が多い順に、クラス全員で鑑賞、感想を発表しあうことを子どもに説明。